

団体名	全日本年金者組合瑞浪支部	番号	1
タイトル	市長選の選挙結果について		
ご意見の内容			
<p>先日行われた市長選挙の結果は、病院統合に対する民意が反映されていると考えます。この結果を市長はどのように受け止められましたか。</p>			
市長の回答	担当課	—	
<p>今回の市長選挙結果については、病院の統合だけでなく駅周辺再開発や道の駅など様々な要因が重なったと考えられます。4年前の選挙が無投票で終わってしまったため、進めている事業についてしっかりと伝えきれなかった部分があると実感しています。</p> <p>病院の統合についても、平成27年ごろから丁寧に説明してきましたが、まだまだ市民の皆さまに的確に伝わっていなかったかと思います。私も東濃厚生病院を残せるものなら残したいですが、東濃厚生病院はJA岐阜厚生連の財産、運営であるため、JA岐阜厚生連が判断されるものであり、市の判断で残すことができません。また、東濃中部の医療提供体制を検討する中で、JA岐阜厚生連と土岐市立総合病院を所管する土岐市との話し合いによって、病院の統合の方向で決定されました。</p> <p>現在、新病院建設事業が進んでいますが、新病院の必要性や、経緯等について、9月に開催予定の市長と語る会で改めてお話をさせていただきます。</p>			

団体名	全日本年金者組合瑞浪支部	番号	2
タイトル	瑞浪市の医療を守ること①		
ご意見の内容			
<p>東濃厚生病院を存続してください。</p> <p>新病院への交通手段について市民の不安の声を聞いており、残さないといけないという危機感を感じています。年金だけでは、新病院へ行くタクシー代は払えません。統合を決めた時点では東濃厚生病院は健全な経営を行っていたと思います。</p> <p>市民の医療提供体制を守ることが市長の役目だと考えます。</p>			
市長の回答	担当課	健康づくり課	
<p>新病院の建設は、平成29年度にJAぎふ厚生連から、人口減少に伴う医療需要の減少や医師確保困難な状況が続くことなどを背景に、今後の医療提供体制について検討したいと相談があったことが発端です。また、東濃厚生病院の存続については、JA岐阜厚生連の財産、運営であるため、国、県、市では判断はできず、JA岐阜厚生連が判断されたものですので、存続できないという事実を受け止めて欲しいです。また、東濃中部の医療提供体制を検討する中で、JA岐阜厚生連と土岐市立総合病院を所管する土岐市との話し合いによって、病院の統合の方向で決定されました。</p> <p>確かに、瑞浪市内に公的病院はなくなってしまうますが、東濃厚生病院から車で15分で到着できるところに、今より高度な医療が受けられる新しい病院を30年、40年確保することができます。</p> <p>今は様々な施設が各市に一つある時代ではなく広域で考える時代になりました。病院については、道路が整備されたことにより医者にかかるまでの時間が短縮され、また、ヘリコプターやドクターカーなどのサービスもあります。皆さまがおっしゃる通り、土岐市に新病院が建設されることで、病院までの交通手段の確保が課題となります。それに対して皆さまから様々な意見を伺いたいと考えています。</p>			

団体名	全日本年金者組合瑞浪支部	番号	3
タイトル	瑞浪市の医療を守ること②		
ご意見の内容			
<p>地域医療包括システムの整備は進んでいますか。 中学校下30分圏内、釜戸、陶、日吉、など周辺地域の医療体制は整っていますか。（訪問診療、訪問ヘルパー、訪問リハビリなど） 訪問診療ができる医療機関は市内に何件ありますか。</p>			
市長の回答	担当課	健康づくり課 高齢福祉課	
<p>現在、釜戸町には医療機関はありませんが、東濃厚生病院の巡回診療が月に2～3回あります。</p> <p>本市周辺地域において、訪問診療や往診対応を掲げる医療機関はあるものの、必要とされる治療内容によって対応できない場合などは、市内他地域又は市外の医療機関の訪問診療によって補われています。現状として、訪問診療利用数は市内に比べ近隣他市の方が上回っており、本市外の資源を活用することで市内全域に医療を提供できているといえます。</p> <p>訪問リハビリについては、市内に専門の事業所はありませんが、訪問看護ステーションによってサービスが提供されています。関係者から訪問リハビリが不足しているという声は聞かれず、市内の需要のほとんどが賄えている状況と認識しています。</p> <p>身体介護や生活援助を行う訪問ヘルパーは、在宅介護を担う大切なサービスです。「第9期瑞浪市高齢者福祉計画・介護保険事業計画」の策定に向け、昨年度ケアマネジャーに対して実施した調査で、「供給が不足していると感じるサービス」を問うたところ、訪問ヘルパーとする回答が84.8%と最も高くなりました（訪問リハビリは4.3%）。アンケート結果については新型コロナウイルス感染症が影響しているとも考えられますが、ヘルパー不足については、今後の高齢介護施策において考慮しなければならない重要な課題として認識しています。</p> <p>現在訪問診療を提供している医療機関は市内に3箇所、在宅診療療養支援診療所は市内に1箇所あります。</p>			

団体名	全日本年金者組合瑞浪支部	番号	4
タイトル	瑞浪市の医療を守ること③		
ご意見の内容			
<p>人工透析患者への対応は十分ですか。 現在、東濃厚生病院では、約50名が透析を受けているとのことですが、15～20床だと足りないのではないですか。</p>			
市長の回答	担当課	健康づくり課	
<p>市内では東濃厚生病院で人工透析が行えるほか、1箇所開業医療施設がございます。また近隣市にも数施設あり、東濃中部圏域の医療機関での対応は十分可能な状況です。 また統合により建設される新病院につきましても、基本計画において透析室を整備し15～20床程度を設置するとしております。</p> <p>※参考として、15床で1日2クール（午前午後）の人工透析を実施した場合、対応可能人数は最大60名です。</p>			

団体名	全日本年金者組合瑞浪支部	番号	5																		
タイトル	高齢者への生活支援について①																				
ご意見の内容																					
<p>行方不明者の実態（発生件数、発見者数）を教えてください。 GPS靴の貸し出しはしていますか。</p>																					
市長の回答	担当課	高齢福祉課																			
<p>消防本部が市内で搜索活動をした直近5年間の発生件数、発見者数は以下のとおりです。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>発生件数</th> <th>発見者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成30年度</td> <td>3件</td> <td>3件</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>4件</td> <td>4件</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>5件</td> <td>5件</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>5件</td> <td>5件</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>2件</td> <td>1件</td> </tr> </tbody> </table> <p>GPS靴の貸し出しは行っていませんが、「徘徊高齢者家族支援サービス事業」として、認知症高齢者等の徘徊による事故を防ぐため、購入又はレンタルするGPS機器の初期導入費用に対する助成制度（上限10,000円）を設けています。</p>				年度	発生件数	発見者数	平成30年度	3件	3件	令和元年度	4件	4件	令和2年度	5件	5件	令和3年度	5件	5件	令和4年度	2件	1件
年度	発生件数	発見者数																			
平成30年度	3件	3件																			
令和元年度	4件	4件																			
令和2年度	5件	5件																			
令和3年度	5件	5件																			
令和4年度	2件	1件																			

団体名	全日本年金者組合瑞浪支部	番号	6
タイトル	高齢者への生活支援について②		
ご意見の内容			
<p>独居者を対象に消防署への直通電話の利用はありますか。周知は十分でしょうか。</p>			
市長の回答	担当課	高齢福祉課	
<p>健康状態に不安を持つひとり暮らし高齢者に対し、消防署への緊急通報が可能な緊急通報装置、通称「あんしん電話」を貸与する事業を行っています。利用者は令和5年度当初で238名で、月1回程度の利用があります。</p> <p>利用申請にあたり、担当民生委員の所見が必要となることから、民生委員への周知を重点的に行っています。日頃の見守りを通じて設置が望ましいと判断した場合、民生委員から申請書を提出していただくケースが大多数となっています。今後も民生委員と連携を図り、必要な方を適切にサービスに繋げてまいります。</p>			

団体名	全日本年金者組合瑞浪支部	番号	7
タイトル	高齢者への生活支援について③		
ご意見の内容			
<p>配食サービスを週5回に増やす改善をお願いします。 多治見市は4業者で週7回の配食サービスを行っているとのことです。</p>			
市長の回答	担当課	高齢福祉課	
<p>ひとり暮らし高齢者、高齢者のみの世帯で、心身機能の低下等により調理が困難な方に対して、週に2回、市から委託を受けた業者が昼食の弁当を配達するとともに安否確認を行っています。</p> <p>令和3年度までは週1回のみ利用としていましたが、利用者本人やケアマネジャー等へのアンケート調査の結果を踏まえ、昨年度より週2回まで利用可能としました。今後配食回数を増やすことについては、利用者等のニーズやサービスを利用できない他の高齢者との公平性を考慮し、検討していきたいと思えます。</p> <p>また、昨年度委託業者には、認知症を正しく理解し、地域で暮らす認知症高齢者を見守る応援者を養成するための「認知症サポーター養成講座」を受講していただきました。学んだ知識を今後の業務に活かし、配食サービスの質の向上につながっていくことが期待されます。</p>			

団体名	全日本年金者組合瑞浪支部	番号	8
タイトル	高齢者への生活支援について④		
ご意見の内容			
<p>ゴミ出し支援、買い物困難者への支援、通院支援をお願いします。</p>			
市長の回答	担当課	高齢福祉課	
<p>ゴミ出し支援については、高齢者安心支えあいポイント制度（通称「ささエール」）において、高齢者支援に係る講義等を受けたささエール会員からゴミ出しを含む軽度の生活援助を受けることや、社会福祉協議会が所管するボランティア団体「ふくしお助け隊」においても支援を受けることが可能です。</p> <p>買い物困難者への支援については、配食・宅配・買い物代行などのサービスにより家まで商品を届けてもらうことができ、市内でも多くの企業が事業を展開しています。また、移動販売車「旨味屋号」は地域の拠点を巡回し、生鮮食品や日用品等の販売を行っていますので、ご活用ください。</p> <p>通院支援については、介護タクシーや介護保険における訪問介護を利用する方法があります。他にもコミュニティバスやデマンドタクシーも外出支援の役割を担っています。今年度は、地域公共交通計画の策定を通して、公共交通の充実に努めてまいります。</p>			

団体名	全日本年金者組合瑞浪支部	番号	9
タイトル	高齢者への生活支援について⑤		
ご意見の内容			
<p>加齢性難聴者への補聴器購入の補助はありますか。</p> <p>岐阜県議会で補聴器助成について一般質問があった際、知事より検討するとの答弁がなされました。既に飛騨市と輪之内町は補助制度を導入しています。</p> <p>補聴器自体が高価であるため、補聴器をつけるという判断ができない人も多くいると思います。まず行政として補聴器を必要とする人を把握するアンケート調査等は実施されますか。</p>			
市長の回答	担当課	高齢福祉課	
<p>現在、加齢性難聴者への補聴器購入の補助制度はございません。</p> <p>担当課の窓口において補聴器に関する相談はほとんどありません。その一方で、「第9期瑞浪市高齢者福祉計画・介護保険事業計画」の策定に向けて昨年度実施した「在宅介護実態調査」において、要介護認定を受けられた在宅高齢者に対して「今後の在宅生活の継続に必要と感じるもの」を問うたところ、14.0%の方が補聴器が必要と回答されました。（全回答者数558名）また、難聴になることで人とのコミュニケーションがうまくいけなくなったり、危機察知能力が低下したりすることで外出や社会参加の機会が少なくなり認知症リスクが高まるともいわれています。計画策定に向けて実施した一般高齢者を対象としたニーズ調査において、外出を控えている高齢者に、その理由を問うたところ足腰の痛みが一番高く32.1%でした。一方、聞こえの問題により外出を自粛していると回答された方は5.8%という結果でした。</p> <p>補聴器を必要とする声を把握しているものの、高齢者の難聴は本市特有のものではなく全国共通の課題であります。高齢者支援施策として全国一律の基準で実施されることが望ましく、本市独自の補助制度の創設は考えておりません。全国市長会から国に対し「加齢性難聴者の補聴器購入に対する補助制度を創設すること」と要望しており、今後も国、県の動向を注視してまいります。</p>			

団体名	全日本年金者組合瑞浪支部	番号	10
タイトル	年金について①		
ご意見の内容			
<p>最低保障年金の実現を早急に図る事を国に働きかけてください。</p>			
市長の回答	担当課	保険年金課	
<p>令和5年度における老齢基礎年金額は満額で、67歳以下の方は年間795,000円、月額66,250円、68歳以上の方は年間792,600円、月額66,050円であり、前年度より増加したものの依然として基礎年金給付のみの生活は大変厳しいものと認識しております。</p> <p>こうした中で、「最低保障年金」については、旧民主党政権時や自民党総裁選時などにも提唱されていましたが、「最低保障年金」の財源全てを国庫負担つまり税金とする場合、その財源をどう確保するのか課題となります。</p> <p>消費税などの税負担増加など国民の理解を得ながら、慎重かつ丁寧な議論が必要であり、持続可能で安心できる年金制度の構築について、国の動向を注視していきたいと思っております。</p>			

団体名	全日本年金者組合瑞浪支部	番号	11
タイトル	年金について②		
ご意見の内容			
<p>物価が上がっても年金が減らされるマクロ経済スライドを廃止してください。</p>			
市長の回答	担当課	保険年金課	
<p>年金制度は、若い世代が高齢者を支える形で維持されていますが、高齢化により年金給付費が増加し、年金給付を負担する若い世代は少子化で減少し、その構図は厳しいものとなっています。年金給付の財源の半分である年金保険料は上昇し若い世代の負担が増えています。</p> <p>このため、年金制度の長期的・安定的運営のため、「年金給付の支出」と「保険料の収入」の均衡が保たれるよう、賃金・物価の上昇に対し年金給付水準を調整（抑制）する「マクロ経済スライド」が平成16年の年金制度改正で導入されました。令和5年度においては、3年ぶりの増額改定となりましたが、「マクロ経済スライド」による調整により、本来の賃金・物価上昇よりも上げ幅が小さくなるなど、高齢者の方にとって、この年金額の抑制が生活に与える影響が非常に大きいのも事実です。</p> <p>年金で生活する高齢者の方と、その財源を支える若い世代の負担とのバランスを考慮し、持続可能で安心できる年金制度の構築について関係機関と連携していきたいと考えています。</p>			

団体名	新日本婦人の会瑞浪支部	番号	12
タイトル	—		
ご意見の内容			
<p>瑞浪市の小・中学校の学校給食無償化を実現してください。</p> <p>令和5年6月議会で新日本婦人の会瑞浪支部で請願署名を提出し、財源的には厳しいという事ですが、趣旨は理解できると趣旨採択いただきました。</p> <p>実施している自治体では、全予算の0.5～1%で実現できるそうです。子育て支援し、人口減少対策として実施してください。</p> <p>市長選挙の際、幼稚園の給食費無償化を公約に掲げていましたが、是非具体化して欲しいです。</p> <p>また、今後の給食の提供体制について、1箇所で作るのではなく各学校で地域で作った給食を提供できれば食育となると思いますので実現できないでしょうか。</p>			
市長の回答	担当課	学校給食センター 子育て支援課	
<p>本市の令和4年度における学校給食に係る食材費は約1億6,800万円でした。</p> <p>学校給食の食材費は、学校給食法において原則保護者の負担と定められていますので、現時点では無償化は考えていません。</p> <p>しかし、3月に国から示された「こども・子育て政策の強化について（試案）」において、学校給食の無償化に向けて、課題の整理を行う。」と明記されましたので、国の動向を注視しながら研究を行いたいと考えています。</p> <p>今後、より小学生未満の子育て支援を充実したいと考え、令和6年度から3～5歳児の給食費を無償化をする予定です。</p> <p>現在の給食センターを大規模改修または更新するなど、施設の安定運用に努め、安全安心な給食の提供に努めてまいります。</p>			

団体名	新日本婦人の会瑞浪支部	番号	13
タイトル	ー		
ご意見の内容			
<p>無農薬・地場産食材給食の実現に向けて地元農家が有機農業に取り組めるよう支援してください。</p> <p>最初は主食のコメを地元農家に無農薬栽培で委託することから検討してください。</p>			
市長の回答	担当課	農林課 子育て支援課	
<p>農家の方が有機農業に取り組まれる場合の相談窓口として、県を中心とした有機農業プロジェクトチームが設置されています。プロジェクトチームでは、技術的指導のほか、活用が可能な国・県の補助事業の紹介などを行っていますので、お声かけください。</p> <p>せいわ保育園でオーガニック給食を実践されています。まずは市民の理解を深めていくところから始める必要があります。</p>			

団体名	新日本婦人の会瑞浪支部	番号	14
タイトル	ー		
ご意見の内容			
<p>小・中学校のトイレ個室に生理用品を常備してください。特に中学校での常備をお願いします。</p> <p>令和4年度に土岐小学校で試行された結果を教えてください。</p>			
市長の回答	担当課	学校教育課	
<p>小中学校のトイレ個室に生理用品を常備することについては、各学校の養護教諭等と意見交換をしています。その結果、小中学生の時期は、生理について保健教育として行う時期であり、急に始まった時や、何か困った時には保健室に行くこととしています。保健室に相談に来てくれることで、悩みを聞くことができ、解決に向けて大人が動くことができます。反対に個室に用意することで生理用品を購入してもらえない等の不適切な養育が発見できないこともあります。</p> <p>土岐小学校で試行されていますが、月に2～3個くらい使用される程度で、必要度は高くはないと感じています。</p>			

団体名	新日本婦人の会瑞浪支部	番号	15
タイトル	ー		
ご意見の内容			
<p>一病院化の是非を問う住民投票を実施し、反対多数なら事務組合から脱退してください。</p> <p>一病院化の決定自体が市民不在で決められたため、市民の不満はうっ積しています。</p> <p>東濃厚生病院は瑞浪市民に必要な病院です。総合病院として存続して下さい。</p>			
市長の回答	担当課	健康づくり課	
<p>令和元年度から医療提供体制検討会や医療提供体制審議会で、一般の方の傍聴や市民からの意見の募集、東濃中部病院事務組合規約（案）に対するパブリックコメント等、様々な方法で既に意見をお聞きしております。また、市民説明会、地域懇談会（市長と語る会）などで経緯も説明しておりますし、その内容をホームページや広報等により周知を行ってきました。東濃厚生病院は、市有施設ではないため、一病院化の是非を問う住民投票は実施しません。</p>			

団体名	新日本婦人の会瑞浪支部	番号	16
タイトル	ー		
ご意見の内容			
<p>昨年10/25、東濃厚生病院の存続を求める市民の会との懇談で、市長は東濃厚生病院の後利用について「市民アンケートや協議の場への市民参加は考えていない。東濃厚生病院は厚生連の建物だから厚生連がやること」と返答されました。同じ質問に厚生連は12/8の懇談で「それは瑞浪市がやること」と答えています。東濃厚生病院の後利用に市民の意見を反映させてください。</p>			
市長の回答	担当課	健康づくり課	
<p>市としましては、市有施設ではない東濃厚生病院の後利用に対する市民アンケートの実施や協議の場への市民参加は考えておりません。</p> <p>東濃厚生病院の後利用については、令和4年度よりJA岐阜厚生連、瑞浪市、恵那市のメンバーで構成される協議会を設置し、協議をすすめております。具体的には一次医療（診療所・クリニック）機能の継続及び福祉・介護施設等としての活用を検討しているところです。東濃厚生病院はJA岐阜厚生連の財産、運営であるため、最終的にはJA岐阜厚生連が判断されます。</p>			